

平成 22 年度事業計画

■ シンポジウム

平成 22 年度 和歌山地域経済研究機構シンポジウム

「地域活性化への提言―商業・観光・まちづくり―」～和歌山市の賑わいを目指して～

活動報告の記事を参照

■ 研究会

● 中心市街地来街者調査と事業所経営調査

【メンバー】

代 表	木下 雅夫	和歌山社会経済研究所理事・総括研究部長
研究員	澤崎 喜英	和歌山社会経済研究所研究部長
	中平 匡俊	和歌山社会経済研究所主任研究員
	松村 光一郎	和歌山社会経済研究所主任研究員
	畑 光穂	和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室長
	中浴 正隆	和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室主任
	青木 勇次	和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室主任
	竹林 明	和歌山大学観光学部教授
	足立 基浩	和歌山大学経済学部教授
	大泉 英次	和歌山大学経済学部教授
	吉村 典久	和歌山大学経済学部教授
	辻本 勝久	和歌山大学経済学部准教授
	柳 到亨	和歌山大学経済学部講師
事務局	藤村 幸司	和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室主事
	山本 敦子	和歌山大学経済学部助教

【研究の趣旨と目的】

近年の地域小売商業を取り巻く状況は、社会・経済情勢の変化や消費者の生活様式の多様化により、商業施設への集客および経営的には非常に厳しくなっていると言わざるを得ない。

和歌山市においても従来からの中心商業地である、ぶらくり丁周辺の小売商業が同様の危機的状況にあるという事実がある。

参照文献にも触れているが、関係者も行政も手をこまねいているわけでもなく、過去から数多くの対策や振興策を講じてきた。しかし、結果的には期待する成果は上げられていないのが実情である。原因や課題も数多く指摘されているが、これらに対する明確な解決策や将来への展望の提示も不十分といえる。

このような状況の中で、関係各位の協力の下、改めて中心商業地域（ぶらくり丁）の再生につながる活性化策の研究及びその実現を目指す取り組みを実施する研究会を開催する

こととした。その内容は、まず基礎的調査として、消費者や一般顧客の動向調査（来街者調査・通行量調査）を実施したうえで、最も重要なフェーズとして、商店街関係者や当事者の個店経営に関する実情及び実態把握と今後の“あり方”を“本音”で聞き出すことを計画している。

さらに同時に、地域商業として目指すべき将来の姿＝ビジョンを明確に示すことも計画している。自分たちの“商売の形”や生活の糧となるものはどのようにしていけば良くなるのか、あるいは自分たちのかかわりはどういったことになるのか、といったことが関係者においてある程度の理解と共通認識を持つことが本課題の取り組みに絶対不可欠と考えるからだ。それは、単に商業という形態だけではなく、“観光”や“まちづくり”のあり方を考えるのと同様といえよう。

地域小売商業の活力を復元させることは並大抵なことではない。しかし、たとえ困難でも果敢にチャレンジしなければ“明日への展望”は望めないだろう。この視点に立って、本研究会を精力的に取り組んでいきたい。



● 和歌山市中心市街地再生研究会

【メンバー】

代表	足立 基浩	和歌山大学経済学部教授
研究員	萬羽 昭夫	財団法人和歌山社会経済研究所研究部長
	藤代 正樹	財団法人和歌山社会経済研究所主任研究員
	鈴木 孝明	財団法人和歌山社会経済研究所主任研究員
	畑 光穂	和歌山商工会議所企画・街づくり支援室長
	大泉 英次	和歌山大学経済学部教授
	山田 良治	和歌山大学観光学部教授
	堀田 祐三子	和歌山大学観光学部准教授
事務局	山本 敦子	和歌山大学経済学部助教

2009 年度は中心市街地散策マップの作成とそのマーケティングに関する調査を行った。(1)レトロ巡りコース、(2)過去を振り返るコース、(3)からくりを楽しむコース、(4)和歌山市駅周辺雑賀衆・熊楠ゆかりの地散策コースなどを作成した。

なお、上記マップに対する観光客の意向を把握するために、需要が眠る大阪南部に対してアンケート調査も実施した。

今後はマップの追加と、例えば長崎さるく博覧会（2006 年、355 万人の観光客を誘致）のようなマップを利用するためのしかけづくりについても発展させ、交流人口の増加につなげ、中心市街地再生に結びつけることを検討する。

本研究会は単に研究にとどまらずあみ出した施策の実験的実行を視野に入れている。

■ 刊行物

- 機関誌「地域経済」
- 中心市街地来街者調査と事業所経営調査報告書

■ ホームページによる広報

URL : <http://www.eco.wakayama-u.ac.jp/wtkkk/>

理事会メンバー

(平成 22 年 9 月 1 日現在)

【地域経済研究機構理事会】

理 事 長	森口 佳樹	和歌山大学経済学部教授 経済学部長
副 理事長	山田 良治	和歌山大学観光学部教授
理 事	小倉 正義	和歌山商工会議所専務理事
	北田 佳秀	和歌山社会経済研究所専務理事
	木下 雅夫	和歌山社会経済研究所理事・総括研究部長
	大泉 英次	和歌山大学経済学部教授
	鈴木 裕範	和歌山大学経済学部准教授

お知らせ

本誌より、表紙デザインを一新しました。デザインは堀切川和也氏(和歌山大学システム工学部デザイン情報学科 2 年生)です。デザインのメッセージは次のとおりです。

「背景の模様は、自然豊かな和歌山の山々や紀ノ川、流れる風、それと地域経済の流れや発展、盛り上がりを表現しています。中央のオブジェは研究の熱意やパワー、未来への希望を表しています。オブジェは和歌山の形、または翼にも見え、この研究が地域経済の発展のために飛び立ってほしいというシンボルです。」